

# 体育

## 跳び箱運動

6年2組  
授業者 井上 宏実

### ■ 単元の目標

- 友だちと励まし合って仲良く運動をしたり、協力して器械・器具の準備や片付けをしたりしようとする。(関心・意欲・態度)
- 自分の力に合った技を選び、自分の課題に適した練習の場や練習の仕方を考えることができるようになる。(思考・判断)
- 自分の力に合った新しい技に取り組んだり、安定した動作で今できる技の支持跳び越しができるようになる。(表現・技能)

### ■ I C T 活用の視点

#### ○ 学習効果を高めるための ICT 活用

前時に撮影した試技の連続写真と試技の動きを数秒後にスクリーンへ映し出す映像で、跳び方のポイントが視覚的に分かるようにしていきたい。(ノートパソコン・スポーツミラー・プロジェクタ・スクリーン・web カメラを使用)

### ■ 本時の授業の概要

1 学期のマット運動では、連続技を取り入れた班別対抗選手権大会を行ったことにより、どの児童も意欲的に学習することができた。しかし、跳び箱運動では連続技がない上、失敗してぶつかったり、下に落ちたりして嫌がる児童も増えてくる。

そこで本時の学習では、まず、前時に撮影した連続写真と学習カードを資料として、友だちと相談しながら自分の課題を見つけるようにする。次に、自分に合った練習方法を選び、友だちに見てもらったり、映像で確認したりしながら練習する。そして、できる技を増やし、跳び箱運動の楽しさを味わえるようにしたい。

### 本時の目標

自分の試技の連続写真や、映像を見たり友だちと教え合ったりして、自分に必要な技のポイントを見つけながら練習できる。

学習活動	指導上の留意点
1.集合、あいさつ、準備運動、連續跳び	前時に身につけた技で連續跳びを行うようする。
2.本時のめあてを確認する。	自分に必要な技のポイントを見つけながら練習しよう。
3.台上前転や首はね跳びの練習をする。 <ul style="list-style-type: none"><li>前時に撮影した連続写真を見ながら自分に合った練習を見つける。</li><li>友だちと課題を確認しながら練習する。</li><li>練習中に試技を撮影する。</li></ul>	前半はグループ全員で台上前転の練習に取り組み、台上前転ができた児童は首はね跳びの練習を行うようする。 映像を活用することにより、視覚的に理解できるようする。 ◇プロジェクターに映し出される自分の動きや友だちの意見を参考にし、技のポイントを見つけながら練習している。
4.本時の学習のまとめを行う。	学習カードを使って課題が達成できたか確認できるようする。 本時で見つけた技のポイントを次時に生かすことを確認する。